

ご存知ですか？

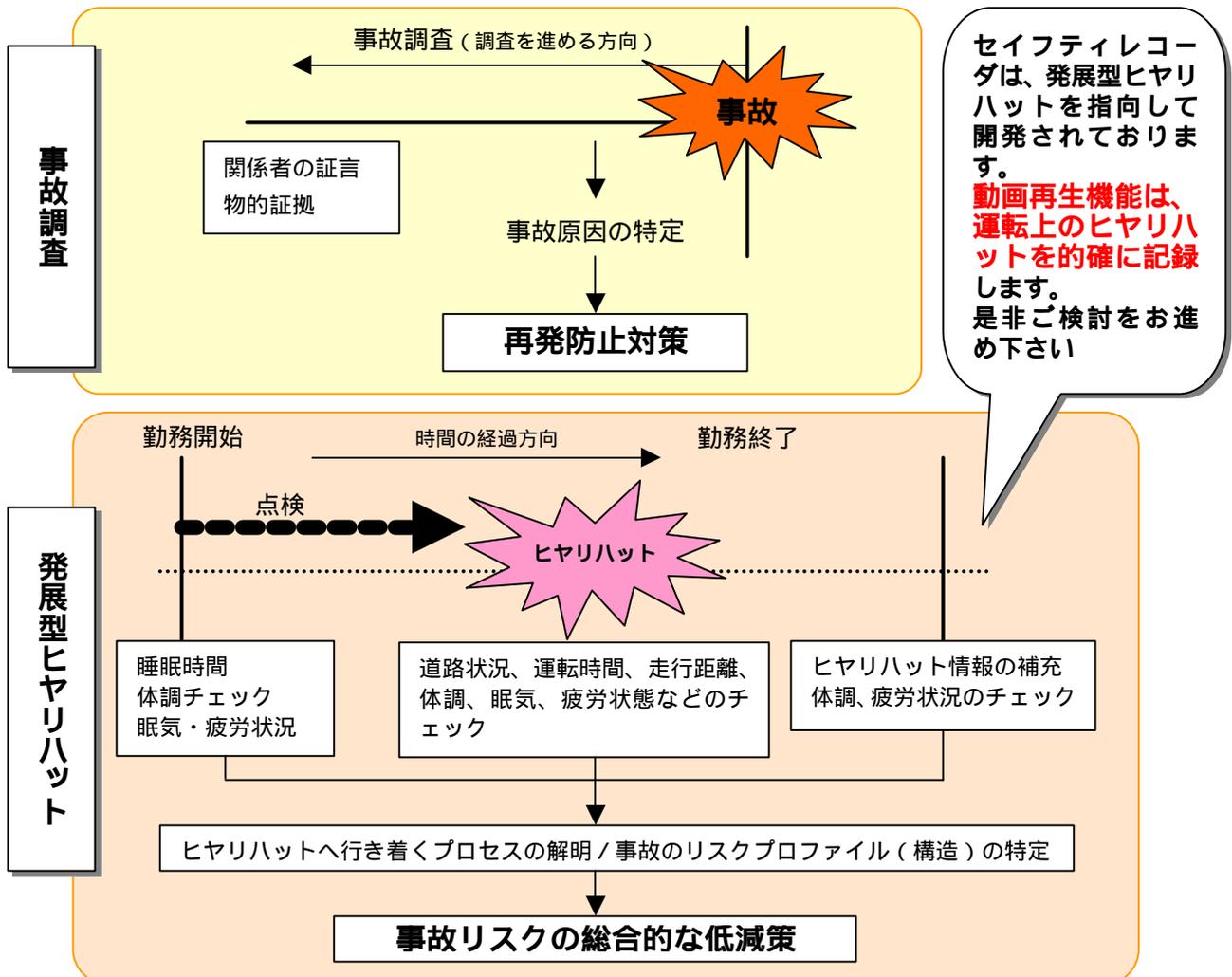
このたび国土交通省から「ヒヤリハット重視の指針」が示されました

事業用自動車のドライバーは、一つ間違えば大きな事故に巻き込まれてもおかしくないような状況の中で毎日運転を続けております。そのような中で事故が起こりそうであったが幸いにも回避できた（ヒヤリハット）ということが生じております。従来からの事故に対する

原因調査・対策という形に留まらずヒヤリハットを重視し、ヒヤリハットが起こる状況を解決するということの重要性が認識されて来ております。このたび国土交通省から「ヒヤリハット調査」の実施に関する指針が公表されました。

【ヒヤリハット調査とは何か】（国土交通省発行「ヒヤリハット調査の方法と活用マニュアル」より抜粋）

（前略）事故の予防策を検討する場合、実際に起こった事故（アクシデント）を取り上げて検討することはもちろん有効であるが、この「ヒヤリハット」情報を積極的に集め、分析することもさらに有効であることはよく知られている。製造業や建設業、航空業界などにおいてはすでに数十年前からこのヒヤリハット調査と取り組み、さらに医療界においても医療事故の予防のためにこの数年本格的な取り組みがすすみ、すでに効果をあげはじめている。それに比べ、事業用自動車業界においては、一部の先進企業においてこのヒヤリハットによる事故予防の取り組みは認められるものの、業界全体から見ると十分とはいえない。自動車事故の大幅な削減が国民的な課題となっている現在、プロドライバー集団である事業用自動車業界をあげてこのヒヤリハット調査と取り組み、実行可能な事故対策を見いだすことが期待されている。とくに一般ドライバーと異なり、「業務として運転」にあたるために、運行計画と事故との関連についても取り上げていくことが重要である。（後略）





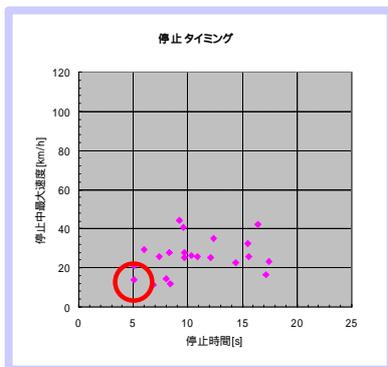
## 散布図から分かる運転のヒヤリ・ハット

散布図上にプロットされているポイントから、どのような運転状況であったかを読み取る方法をこのコーナーでシリーズとしてご紹介をさせてもらっております。

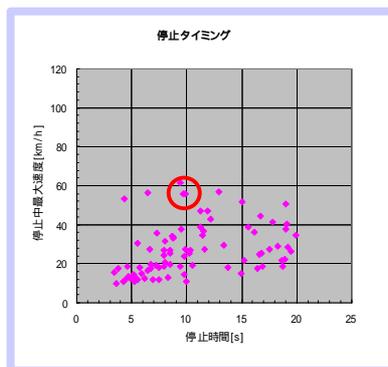
第3回目は、ブレーキ診断において、停止時のタイミング（ブレーキ操作で停止までの時間）について説明いたします。

停止時のブレーキタイミング散布図では、ブレーキを踏み始めた速度と停止までに要した時間の関係を表しており、速度が出ていて短時間で停止は（散布図上では左側上部）急なブレーキ操作でややもすると追突の危険があるブレーキ操作です。

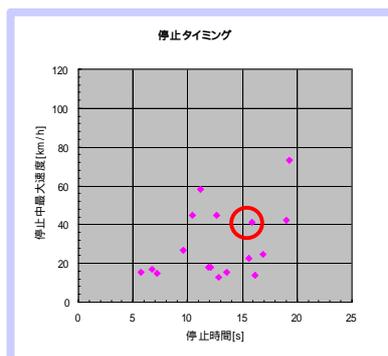
散布図上で（縦軸・時速）20 km/h で（横軸・停止時間）5 秒以内、40 km/h では10 秒以内、60 km/h の速度では15 秒以内の停止をひとつの判断基準とし、ブレーキ操作（停止ブレーキ）の指導にお役立てください。



\* 発進直後、止まれ標識等で停止のため速度は出ていない



\* 約 60 km/h で走行中、前方の信号が黄色に変わりブレーキ、10 秒後に停止  
やや急停車



\* 約 40 km/h で走行中前方に信号で停車車両、早めのブレーキ操作でゆっくりとした停車



## ドライバーの工程管理と居眠り防止のために導入 セーフティレコーダはドライバーとのコミュニケーションツール

当社は、新車トラックを販売店に自走搬送しております。新車搬送ということで搬送するトラックを傷つけたり、無茶な運転をすることは許されません。日頃からドライバーの運転には、厳しく指導をすることにしてきております。セーフティレコーダの商品説明を受け、速度超過した場所や危険運転発生場所が地図で確認できること、データもわかりやすく個人差がハッキリ出ること、車両を傷つけることなく簡単に設置できる等の良さを知りました。導入を決断して既に運用を開始しております。

収録されたデータからドライバー個人個人の運転の状況が記録されますのでそのデータをドライバー一人ひとりに見せております。客観的な運転の生データをドライバーに見せることで説得の大なる効果を引き出しております。導入して一番の効果はドライバーとのコミュニケーションが取れるようになったことでもあります。点呼に際してもSRのデータを参照しながら『昨日のように速度遵守をお願いします』や『今日も右左折時にはしっかり減速しましょう』などドライバー個々に具体的に出発前の一声をかけるようにして来ております。繰り返しているうちにこのような点呼が習慣になってきております。このようなことを続けているので安全運転に対するドライバーの意識が日に日に向上して行きつつあります。また、乱暴な運転をすると燃費が悪くなったり、タイヤの消耗にもつながります。安全運転することは、燃費向上や消耗品のコスト低減にもメリットをもたらします。安全運転が習慣となり、身に付くようになったと自負しております。



継続は力なりということで今後ともドライバーと運行の生データを挟んでコミュニケーションを重ねて、安全運転の意識改革に成功したと自他ともに認められるようにしてゆきたいと尽力しております。

特注で取り付けてもらいました『居眠り警報』（次頁に説明）は任意に時刻設定が簡単にできるところに利便性があって使ってみてよかったと評価しております。

## コーヒブレイク



- 7月に国土交通省から「ヒヤリハット調査の方法と活用マニュアル」が公表されたけど読んだ？
- ああ 目は通したよ。ヒヤリハットを随分重視し始めたね。従来のような事故がおきて原因追求するやりかただけでは不十分だということだね。
- 災害と予知というのは切っても切れない関係だから、ヒヤリハットのケースを危険予知として捉え、夫々の状況にあわせて日々手を打ってゆくとが大切だということだよ。
- マニュアルを見るとヒヤリハットの調査票の事例も出ているけどドライバーがその都度調査票に書き込むのも大変だなと思うよ。
- 我々のような運送事業は、現場が動いていってしまうし、目の届かないところに行ってしまうのでヒヤリハットの事実もドライバーの個人判断に委ね、自主的に報告させなければならぬのでどうしたものかと考えているんだけどね。
- 製造業では、ヒヤリハットや赤チン災害のフォローは定着して成果につげているようだよ。
- ハインリッヒの法則に沿って着実にやっているということだね
- ヒヤリハットを重視することは判るよ。どうやって上手く運営するか考えてみようよ。



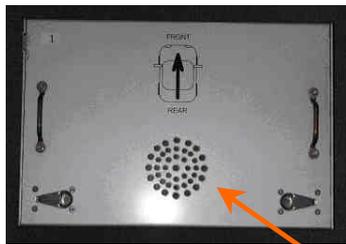
## ✓ 新DVRまもなくリリース

DVR (ヒヤリハットの動画再生装置) がバージョンアップしさらに使い勝手が良くなります。

- 接続がコネクタで簡単にできます
- ハードディスクが大容量になります
- 充電の必要がなくなります

## ✓ ホームページをリニューアル

このたびわが社のホームページがリニューアルされ一新しました。是非ご覧下さい。



### 【居眠り警報】

セーフティレコーダのブザー音を鳴らして、注意を喚起する機能です。定刻にブザーを鳴らすモードとランダムにブザーを鳴らすモードがあります。例えば、午前0時から明け方6時まで、1時間間に2回ブザーランダムに鳴らす設定をすると・・・

午前0時24分 「ピピピー ピピピー」と急に警報が鳴ります！  
ブザーの音色は、5パターンです。

ブザーの音が聞こえるよう「穴」を開けました。



### イベント掲示板

下記の展示会で当社の製品が展示されます



#### ロジスティックスIT関西2003

マイドームおおさか  
大阪市中央区

2003/10/23 ~ 2003/10/24

<http://www.logistics.or.jp/jils/>



#### 中小企業テクノフェア2003

東京ビックサイト東2・3ホール  
東京都港区

2003/10/29 ~ 2003/10/31

<http://www.sme-tf.org/j/index.html>

## お問合せ先

株式会社 データ・テック 担当 山田 美佳  
Tel 03 (5703) 7041 E-mail [sales@datatec.co.jp](mailto:sales@datatec.co.jp)



### 編集後記

甲子園球場では夏の風物詩、高校野球がたけなわです。大いなる声援をバックに選手諸君は母校の名譽をかけひたむきにプレーに興じております。勝敗あった。勝者は歓喜にあふれ、敗者は悔しさに涙しております。この悔しさがバネとなって大きく成長してゆくものと思います。高校野球の勝負の結末を眺めながら、いま取り組んでいる安全問題、即ち事故防止の世界には勝者と敗者というものとは存在しないのだと感じ入っております。常に勝者であり続けることが出来る世界だと・・・。そうあってほしいと念じつつ今月の編集にあたりました。